

平成 26 年 9 月新発田市教育委員会定例会会議録

議事日程

平成 26 年 9 月 3 日（水曜日） 午前 9 時 30 分 開 会
豊浦庁舎 2 階教育委員会会議室

日程第 1 会議録署名委員の指名について

日程第 2 会期について

日程第 3 前回定例会会議録の承認について

日程第 4 委員長の報告

日程第 5 教育長の報告

日程第 6 議 題

議第 1 号 専決処分の承認について

（地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく平成 25 年度事務の管理、
執行の状況の点検評価及び議会への報告について）

議第 2 号 平成 25 年度一般会計決算について

議第 3 号 平成 26 年度全国学力・学習状況調査の公表について

議第 4 号 新発田市学校給食費の会計処理に関する規則の全部改正について

議第 5 号 新発田市青少年健全育成センター運営審議会委員の委嘱について

日程第 7 その他

会議に付した事件

議事日程に同じ

出席委員

関 川 直 委 員（委員長）

外 山 陽 子 委 員

籠 島 由美子 委 員

大 山 康 一 委 員（教育長）

欠席委員

鈴 木 佳 秀 委 員（委員長職務代理者）

説明のため出席した者

政策調整監 高 澤 誠太郎

教育総務課長 杉 本 茂 樹

教育総務課主任参事 平 田 和 彦

学校教育課長 澁 谷 一 男

食育推進課長 高 橋 徳 直

生涯学習課長 船 山 隆

生涯学習課主任参事（兼文化行政室長）
田 中 耕 作

図書館長 鈴 木 秋 彦

中央公民館長（兼生涯学習センター所長）
湯 淺 康 夫

豊浦地区公民館長 伊 藤 毅

紫雲寺地区公民館長 芦 田 隆

加治川地区公民館長 伊 藤 敦

市民文化会館長 池 田 至

青少年健全育成センター所長（兼児童センター所長）
本 間 栄 一

書 記

教育総務課長補佐 松 田 和 幸

資料確認

関川委員長

それでは、ただ今から教育委員会平成26年9月定例会を開会します。

日程第1 会議録署名委員の指名について

関川委員長

初めに、日程第1 会議録署名委員の指名についてであります。外山委員、大山委員を指名します。

日程第2 会期について

関川委員長

日程第2 会期についてであります。1日とします。

日程第3 前回定例会会議録の承認について

関川委員長

日程第3 前回定例会会議録の承認についてお諮りします。
すでに送付してあります会議録について、御質問等ありますか。

関川委員長

なければ、承認の方の挙手をお願いします。

関川委員長

挙手全員でありますので、前回定例会会議録は承認されました。

日程第4 委員長の報告

関川委員長

日程第4 委員長の8月の報告を行います。

関川委員長

8月20日(水)に「わたしの主張」三市北蒲原郡地区大会が聖籠町文化会館であります。阿賀野市立安田中学校女子生徒が代表になられたということでありました。29日(月)二葉小学校の新しい校舎の内覧会があり、教育委員全員で見せていただきました。大変素晴らしい配慮の行き届いた校舎で、子どもたちもさぞかし幸せであろうなと感じてまいりました。

以上であります。

日程第5 教育長の報告

関川委員長

日程第5 教育長の8月の報告をお願いします。

大山教育長

【資料に基づき説明】

関川委員長

教育長報告について、御質問等ありますか。

関川委員長

ないようですので、教育長の報告は以上で終わります。

日程第6 議 題

関川委員長

次に、日程第6議題に入ります。議第1号 専決処分の承認について（地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく平成25年度事務の管理、執行の状況の点検評価及び議会への報告について）議題とします。
杉本教育総務課長より説明をお願いします。

杉本教育総務課長

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条の規定に基づき、毎年、教育委員会に属する事務につきまして点検評価を行い、その結果に関する報告書を作成しまして、議会に報告し、公表しなければならないとしております。

報告書については、議会初日の9月1日に間に合わせるということで、専決処分をさせていただきましたが、本定例会であらためて承認をいただきたいというものであります。

それでは、報告書について説明します。

【資料に基づき説明】

関川委員長

何か御質問等ありますか。

外山委員

7ページのところで、施策名生涯学習が61.76%とあり低いですが、特に困難な理由はありますか。

杉本教育総務課長

資料2の平成25年度事務事業後評価結果の25ページを御覧ください。生涯学習の施策の各事務事業が掲載されておりますが、例えば最初のNo.467の図書館古文書整理事業の評価指標に閲覧の用に供した古文書数とありますが、解読が進んで多くのものが閲覧いただける状況になってくれば、この指標が上がってくる

ということではありますが、解読に労力や時間を要するものは、なかなか数値が上がっていくことにつながらず、困難度が高いということになります。また No.475 の新発田市文化団体連合会支援事業については、評価指標が文化団体連合会加盟団体数とありますが、これも下降傾向ですが、高齢化のせいなのか、なかなか団体数も減ってくるような傾向にあります。これらのような事業もあり、数値を下げる要素となっています。

外山委員

どこの団体も高齢化が進んで人数が減少しています。古文書の解読も一般の人の解読はなかなか難しいと思います。こうした事業も含めているので、達成度が上がらないのですね。よくわかりました。

大山教育長

補足ですが、資料 1 の平成 25 年度施策評価表の 48 ページの生涯学習施策の評価結果の欄ですが、優先順位の 1 位から 5 位の重点事業については、評価結果が全て 5 点ということで、大事なところはきちんと行っているということで、評価はいただけないと思います。

関川委員長

ほかに御質問等ありますか。

関川委員長

ないようですので、議第 1 号 専決処分の承認について（地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく平成 25 年度事務の管理、執行の状況の点検評価及び議会への報告について）原案のとおり承認してよろしいでしょうか。

関川委員長

異議がないようですので、議第 1 号 専決処分の承認について（地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づく平成 25 年度事務の管理、執行の状況の点検評価及び議会への報告について）承認することとします。

関川委員長

次に、議第 2 号 平成 25 年度一般会計決算について、議題とします。
高澤政策調整監より説明をお願いします。

高澤政策調整監

【資料に基づき説明】

関川委員長

何か御質問等ありますか。

関川委員長

緊急雇用創出事業について、単年度経費であります、例えば介助員を数名雇

用した場合、翌年その介助員はどうなるのでしょうか。引き続き雇用が可能なのでしょうか。

高澤政策調整監

緊急雇用創出事業における経費は年度限定で使われるものもありますが、ほとんどが、経常的に使われている経費を充当しています。ですから、緊急雇用創出事業がなくなっても、予算措置されます。

外山委員

平成 25 年度決算に係る主要施策の成果説明書の 40 ページにある健康づくりの小学校健康診断事業と 中学校健康診断事業は、児童生徒及び教職員の健康管理、疾病の早期発見と治療ということですが、新発田市内の小中学校教員で、疾病や心の病で休んでいる方は、現在何人いますか。

渋谷学校教育課長

ただいま、詳細な数字は持ち合わせていませんので、後ほど調べてお答えします。

外山委員

次に学校給食の残渣についてお聞きします。年々減っているのか、学校差についても状況を教えてください。

高橋食育推進課長

学校給食のサイクル推進事業を行っている 10 校は、児童生徒による給食残さの水切り分別を実施しており、残渣量は減ってきています。

ただ、大規模校はなかなか、その事業そのものについて取り組めていない実態で、横ばい状態であります。学校の先生方の姿勢も異なりますので、取り組むようお願いしていきたいと思います。

外山委員

大規模校にも給食を残さないような教育を少しずつ入れてほしいと思います。是非、食べ物の大切さと残さないという教育は続けてほしいと思います。

関川委員長

そのほかありますか。

関川委員長

ないようですので、議第 2 号 平成 25 年度一般会計決算について、原案のとおり承認してよろしいでしょうか。

関川委員長

異議がないようですので、議第 2 号 平成 25 年度一般会計決算について、承認することとします。

関川委員長

次に、議第 3 号 平成 26 年度全国学力・学習状況調査の公表について、議題とします。

澁谷学校教育課長より説明をお願いします。

澁谷学校教育課長

【資料に基づき説明】

関川委員長

何か御質問等ありますか。

外山委員

小学校で全国平均を上回っているのに、中学校で突然、県平均を下回り、落差の大きさでため息が出ます。

子どもたちの資質は良いものを持っています。それを伸ばしきれなかったことは教育委員会をはじめ学校の責任になると思います。先生方が努力しているということはわかりますが、中学校になると教科専門になり、お互いの情報交換や指導法を研究するということが小学校ほど密にやらなくなるので、こういう結果につながってくるのかなとも思います。地域差も影響があると思います。

なんとか小学校の努力を中学校でも受け止めて、つなげていきたいという希望があります。なんとかしなければならいと思います。

籠島委員

このたびの結果について、二階堂市長は 3 本柱に教育の充実を挙げており、学力の向上については期待していました。予算も多くついています。期待に応えられるようにお願いしたいと思います。私たちも以前から先進地視察に行き、授業の進め方を勉強させてもらっていましたが、学校訪問の際には、予習復習が大事であり、そのために家庭との連携が不可欠であることと、また、わかりやすい授業を行ってほしいことをお願いしてきました。このたびの結果を受けて、今年も学校訪問の際に、お願いしたいと考えます。市長の期待に応えられるようがんばってきたいと思います。

関川委員

説明のつきにくい数字だと思います。ただ、光も見えます。小学校で B 問題に対する数値が上がってきています。こういうのが中学校につながっていきます。A 問題だけが強くて B 問題が極端に弱いと中学校へ行くと、まるっきりダメになる可能性はありますが、B 問題の数値が上がってきていることは期待は持てます。ただ、ポイントとなるのは中学校における授業の質であり、ここに問題があるのではないかということは以前から言われています。なかなか改善できません。一方では部活動も頑張れと言われて、長距離の通学の問題もあるし、苦しい材料はたくさんあります。学校も目一杯がんばっているのだからけれど、日常の授業の改善が進まないのではないかなと想像されます。

教育委員会としては、英語の先生の授業力を上げたいということで指導主事に来てもらいましたが、実りとしてすぐには出ません。2 年後 3 年後につながっていく

と信じて、やはり手を打ち続けるということが大事なのかなと思います。特に学習指導改善委員会の提言を受けて、学校はいったいどうするのか、校長会等でどう話されているのかわかりませんが、危機感を校長先生方は持っていると思います。現場で個々の教員がチームとして頑張り切れるかというところに問題がありはしないか、小学校ならば、そうだよねと共感的に話し合われることが、中学校では自分自分だという返事になりがちです。チームとして一貫してやるのが大事であります。学校訪問から見えてくるものは、同じ方向を向いて教員が頑張っている中学校もあります。しかし、教科担任の自分は自分、勝手にやらせてもらいたいというのも垣間見える気がします。そのへんのメスをどうやって入れていくのか、学習指導改善委員会のような成果を是非、現場に引き継いでほしい。提言を受け入れてほしいと思います。

外山委員

学校訪問に行くと、個々の先生の実力の差が歴然としています。学校全体として皆で努力してもらいたいと思います。

後で、その他のところでお伝えするつもりでしたが、魚沼から来た先生が、魚沼は教育のへき地であり、先生がなかなか集まらないところと言います。小学校では、夏休み中、教育委員会が主催して、先生が集まって研修会を行い、算数なら算数で二学期はこういうことを皆で教えようという指導があります。新発田市へ来たなら、そういうものが全くなかったの、自分の実力でやるのは当たり前だが、そういうことをいっしょうけんめいやっている地域もあるということ、教育委員の会議に言ってくださいと頼まれていました。でも、それは小学校のことです。

中学校はどうすれば先生方の意見、方向性が統一できるのか、一校一校のチームワークにかかってくる。それは指導する校長教頭は思っている、現場の先生方を動かすに至らない校長教頭もいるかもしれない。情熱はあっても伝わらない。そのへんは教育委員会もテコ入れしていかなければならないと思います。厳しいことを言いますが、数字が表れれば、素材があるのに伸ばし切れていないのは事実。頑張らなければいけないと思います。

関川委員長

公表されると今のような御指摘を各方面から受けることになるだろうなと思われませんが、教育委員会として、これまでやってきたことが、少しずつ実って来ている説明ができると良いと思います。表記の仕方さえきちんと直していただければ良いと思う。若干わかりにくいところがありますが、例えば、2の考察の(1)学校別平均正答率の3つ目の、学校間格差が大きく、全国平均との比較で、小学校では+(プラス)76~- (マイナス)36ポイント、とありますがどういう意味でしょうか。

澁谷学校教育課長

小学校22校順番に並べたときに、1位の学校が、全国平均を0(ゼロ)としたときに、+(プラス)76は、それより76ポイント高く、-(マイナス)36ポイントは全国平均より36ポイント低い、ということであります。

関川委員長

これは公表したときにすぐわかるのでしょうか。公表だから誰が見てもわかるような表記にしなければならないと思いますが、心配です。

○ 大山教育長

学校間に格差があることも示したいと考えています。

○ 関川委員長

差を数字で表現することが必要なのでしょうか。

外山委員

数字で表記しないと漠然としています。

全国平均との比較が、教育に携わっている人はわかるが、一般の人にもわかるように、全国平均を0（ゼロ）した場合にとか、という表現にしたら良いかと思いません。

籠島委員

学校間格差を示すのに、全国平均は必要なのでしょうか。

大山教育長

市内小学校全体では、各科目は全国平均より上回っているが、学校ごとに見ると全国平均より下回っている学校もあるということを示したい。

関川委員長

+（プラス）76ポイントの意味がわかりません。1種目ならば、1ポイント1桁か10数ポイント程度だと思えます。

大山教育長

4種目合計の数字です。

外山委員

それを加えた方が良いと思います。

○ 関川委員長

数字を読み取るのに誤解のない表記をお願いします。

○ 関川委員長

ほかに御意見ありますか。

○ 関川委員長

表記の問題について、若干検討を加えていただき、事務局に一任するということがよろしいでしょうか。

○ 関川委員長

それでは議第 3 号 平成 26 年度全国学力・学習状況調査の公表について 承認してよろしいでしょうか。

関川委員長

異議がないようですので、議第 3 号 平成 26 年度全国学力・学習状況調査の公表について、承認することとします。

関川委員長

次に、議第 4 号 新発田市学校給食費の会計処理に関する規則の全部改正について、議題とします。

高橋食育推進課長より説明をお願いします。

高橋食育推進課長

糸魚川市で発生した 2 件の不正経理の問題を受けて、県より全市町村 に今一度、現行のやり方、あるいは規則の見直しを点検しなさいということで、通知がありましたので、これに合わせて新発田市も現在ある規則も含めて点検したところであります。

それでは、内容について説明します。

【資料に基づき説明】

関川委員長

何か御質問等ありますか。

関川委員長

ないようですので、議第 4 号 新発田市学校給食費の会計処理に関する規則の全部改正について、原案のとおり承認してよろしいでしょうか。

関川委員長

異議がないようですので、議第 4 号 新発田市学校給食費の会計処理に関する規則の全部改正について、承認することとします。

関川委員長

次に、議第 5 号 新発田市青少年健全育成センター運営審議会委員の委嘱について、議題とします。

本間青少年健全育成センター所長より説明をお願いします。

本間青少年健全育成センター所長

【資料に基づき説明】

関川委員長

何か御質問等ありますか。

関川委員長

ないようですので、議第5号 新発田市青少年健全育成センター運営審議会委員の委嘱について、原案のとおり承認してよろしいでしょうか。

関川委員長

異議がないようですので、議第5号 新発田市青少年健全育成センター運営審議会委員の委嘱について、承認することとします。

日程第7 その他

関川委員長

次に、日程第7 その他に入ります。事務局から何かありますか。

澁谷学校教育課長

(教職員の人事異動について報告)

人事異動に関する件で、小学校教頭の辞職に伴う発令です。紫雲寺小学校磯部正樹教頭が8月31日をもちまして一身上の都合で辞職されました。それに伴い中条小学校飯塚進主管教諭が、9月1日付けで新しい教頭に着任しましたので報告します。

関川委員長

ほかに報告ありますか。

杉本教育総務課長

(東中学校区統合小学校校名の推薦について)

(東中学校区統合小学校建設事業基本設計について)

【資料に基づき説明】

関川委員長

何か御質問等ありますか。

関川委員長

遺跡については、地元の方々に事前に説明されていたか。

平田教育総務課主任参事

候補地を比較選定する中で、五十公野小学校は遺跡がありうる場所ということは話をしていました。

関川委員長

開校はどの程度遅れるのですか。

杉本教育総務課長

遺跡の調査が必要でなかった場合で考えておりましたのが、平成29年4月開校

を予定しておりました。しかし、遺跡の発掘調査を行うことになると工程上、一年遅れて平成 30 年 4 月開校となります。年度途中の開校はなかなか難しく、校舎ができて条件が整えば、年度途中に開校可能となれるのか、これから検討する必要があると考えています。

大山教育長

学校の方は、仮設校舎での授業は年度変わりから始めたいということですが、今後の工程を圧縮しても、3 学期から仮設校舎で授業を行うことになり、引っ越しもできず無理ということになります。また、統合校ということで年度途中の開校は難しいと思われます。ただ、仮設のプレハブ校舎で、長い間児童を教育していくのはいかがなものかということもありますので、地元と相談していきたいと考えますが、校舎は年度途中で完成します。先行して使うことも考えられますが、今後、検討させていただきたいと思います。

関川委員長

そのほかありますか。

本間青少年健全育成センター所長

(平成 26 年度 わたしの主張 三市北蒲原地区大会について)

「わたしの主張」三市北蒲原地区大会が、8 月 20 日(水)に聖籠町文化会館で行われました。成績は資料のとおりであります。第一中学校と佐々木小学校の代表生徒が優秀賞でありました。県大会は 9 月 20 日に村上市であります。最優秀賞のみの出場となります。なお、この三市北蒲原地区大会は来年度は新発田市で行われます。

関川委員長

ほかにありますか。

関川委員長

ないようですので、今後の日程について、杉本教育総務課長より説明をお願いいたします。

杉本教育総務課長

【資料に基づき説明】

関川委員長

よろしいでしょうか。説明のとおりですので、よろしく願いいたします。

関川委員長

そのほか、何かありますか。

関川委員長

ないようですので、以上で、教育委員会平成 26 年 9 月定例会を閉会します。

午前 11 時 37 分 閉会

平成 年 月 日

新発田市教育委員会委員長

委 員

委 員